

顕微鏡デジタルカメラ 倍率設定の確認方法

長さ計測の機能は、以下の3つのソフトウェアに搭載されています。

- ① cell Sens ソフトウェア (PC 制御)
- ② スタンドアロン接続キット DP2-AOU (DP23 / DP28 用)
- ③ スタンドアロン接続キット DP2-SAL (DP22 / DP27 用)

※DP21 / DP26 以前のカメラについては、付属の取り扱い説明書をご確認ください。

また、倍率設定の確認には「対物マイクロメーター」が必要となります。

お手持ちでない場合は、取り扱い販売店よりお買い求めいただきますようお願い申し上げます。

対物マイクロメーター型式：OB-M,1/100,マイクロ メーカー希望小売価格：¥7,400 (税抜き)

倍率の確認方法 (手順)

- ① 対物マイクロメーターを顕微鏡のステージにセットし、ソフトウェア上で10X対物を選択する。

【① cell Sens 通常レイアウト】



【② cell Sens シンプルレイアウト】



【DP23 / DP28 用】

【③ スタンドアロン接続キット DP2-AOU】



- 1 [取り込み]タブ[A]を選択します。
- 2 [顕微鏡]の設定項目が表示されていない場合は、[B]を押して開きます。
- 3 [対物レンズ][C]のボタンを押して、現在、光路に入っている対物レンズの倍率を選択します。(顕微鏡連動設定の場合は、選択する必要はありません。対物レンズの切り替えに応じて自動で設定されます。)詳細は、「8 顕微鏡との連動機能

【DP22 / DP27 用】

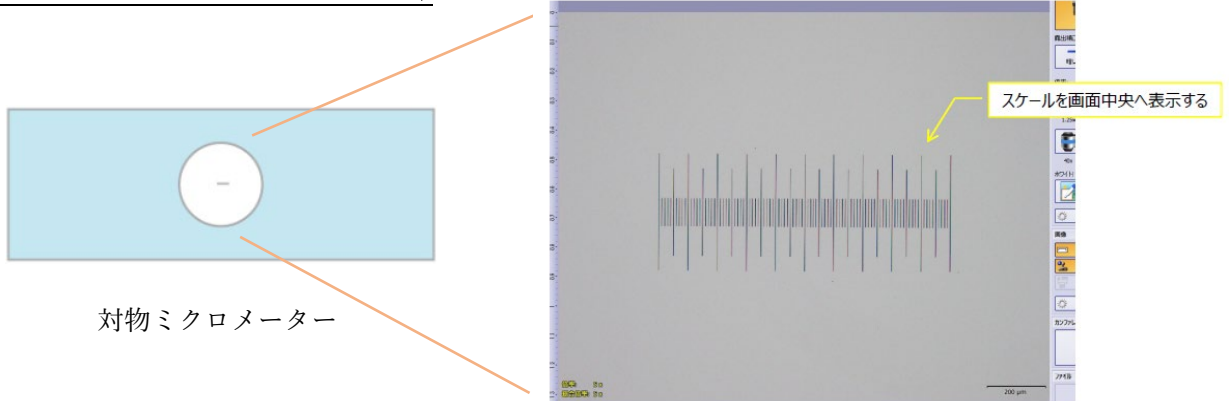
【④ スタンドアロン接続キット DP2-SAL】



- 1 [Controller]タブ[a]を選択します。
- 2 サブメニューの設定項目が表示されていない場合は、[サブメニュー][b]を押して開きます。
- 3 [対物レンズ倍率][c]のボタンを押して、リストから、現在、光路に入っている対物レンズの倍率を選択します。(顕微鏡連動設定の場合は、選択する必要はありません。対物レンズの切り替えに応じて自動で設定されます。)詳細は、「8 顕微鏡との連動機能

ソフトウェア上で選択した対物レンズ (10倍) と顕微鏡の光路に入っている対物レンズが同じ倍率 (10倍) であることを確認してください。

- ② ステージを動かして、対物マイクロメーターのスケールを画面中央に移動させ、ピントを合わせる。
 (直接 10X 対物でピントを合わせにくい場合は、4X 対物で最初にピント合わせをして 10X 対物に切り替え、スケールに再度ピントを合わせる)

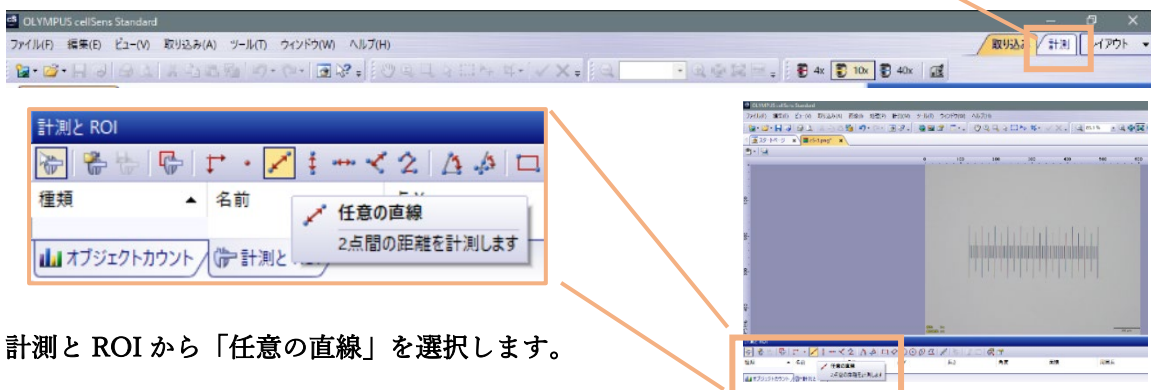


*画像は④ cell Sens ソフトウェア

- ③ スケール機能を使って計測を行い、正しい結果になっているか確認を行う。
 ✓ 表示された計測結果(長さ)が約 100um (10 目盛)であれば正しい計測ができます。

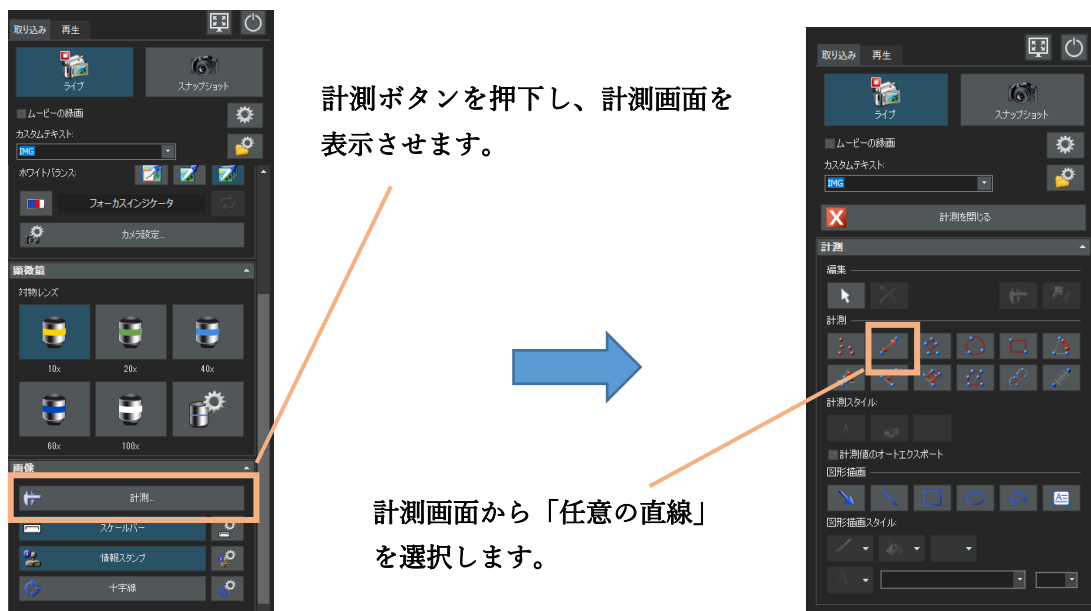
【④ cell Sens ソフトウェアの計測方法】

計測タブをクリックします



【DP23 / DP28 用】

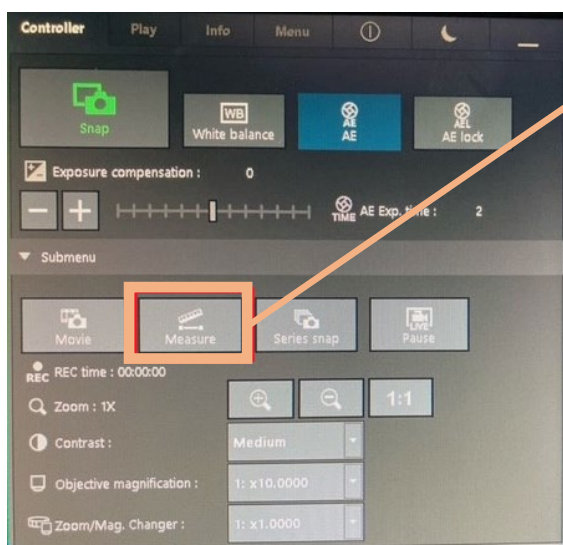
【⑤ スタンドアロン接続キットの計測方法 DP2-AOU】



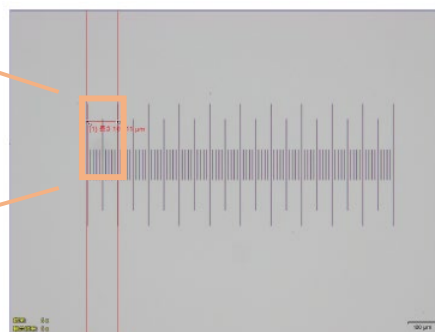
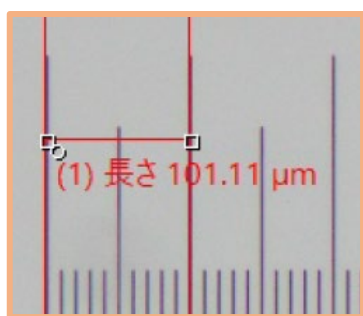
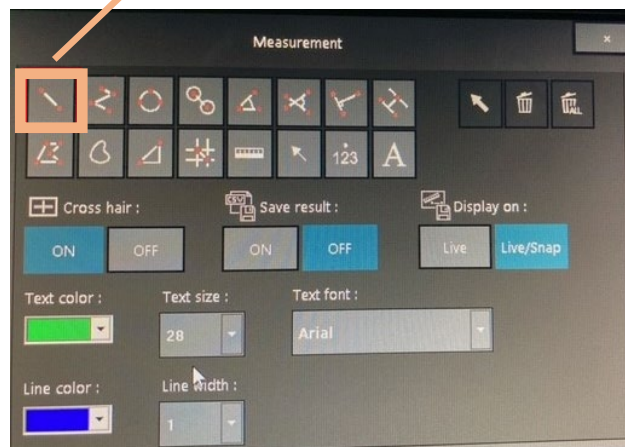
【DP22 / DP27 用】

【 スタンドアロン接続キットの計測方法 DP2-SAL】

計測ボタンを押下し、計測画面を表示させます。



計測画面から「任意の直線」を選択します。



スケールの計測 例)対物レンズ 10x

画面は① cellSens ソフトウェア 計測タブ画

測定結果が大きく違う場合は倍率設定に誤りがある可能性がありますので、お客様相談センターまでお問い合わせください。

また、10 倍対物レンズで正しい計測結果が得られた場合は、顕微鏡に取り付けられている全ての対物レンズとソフトウェアに表示されている対物レンズの倍率が全て同じかご確認ください。設定が違っている場合は、お客様相談センターまでお問い合わせください。

【お客様相談センター】

フリーダイヤル：0120-58-0414 FAX：03-6901-4251

営業時間：平日 8：45～17：30

休業日：土曜、日曜、祝日、夏季、年末年始、システムメンテナンス日

以上

